

サラリーマン

金太郎

本宮ひろ志

Motomiya Hiroshi

8

金太郎、跳ねる



サラリーマン 金太郎

本宮ひろ志

Motomiya Hiroshi

8

金太郎、跳ねる





末永美鈴



黒川優作社長



矢島金太郎



鷹司誠士



青葉高子

【前巻までのあらすじ】

●……サラリーマンになるため、漁師をやめて上京してきた一人の男——その名を“矢島金太郎”という。亡き妻、明美の忘れ形見・竜太を背負い、一流企業「ヤマト建設」にやってきた。しかしこの男、元は暴走族「八州連合」の頭という型破りな経歴の持ち主。ヤマト建設会長・大和守之助を救ったのがきっかけで中途採用されたのだった。

金太郎の力量を測ろうと考えた会社側は、トラブルが多発する、いわゆる荒船山トンネル工事現場に彼を派遣。悪戦苦闘の末、金太郎は工事を無事に完了させた。そんな金太郎の“男のキャリア”にジェラシーを感じていた社内のライバル・鷹司は、暴走車で金太郎を狙うが幸い軽傷で済む。傷癒えた金太郎は赴任先の東北支社へと出発した。

赴任早々、金太郎は、河北市民ホールの増改築工事の話をつかみ、事前談合に臨む。だが、市の公共工事を牛耳る北東総建が、支配下の柴幡工務店を割り込ませようとしたため談合は決裂。異例の自由競争入札となる。そして入札日当日、最低価格ギリギリの数字を用意したヤマト建設だが、結果はそれを下回った柴幡工務店が落札……。だが、直後に不正が発覚し入札は不調に終わる。その後まもなく、郵便爆弾によって副支社長らが重傷を負った。陰謀の背後に北東総建の存在を知った金太郎は辞表を認め、元八州連合のメンバーと共に、河北市役所と暴力団事務所を襲う。投獄された金太郎は、法廷で執行猶予判決を受け、ヤマト建設の人間が出迎える中、愛息・竜太と久しぶりの再会を果たした。

サラリーマン 金太郎

⑧

金太郎、跳ねる

【目次】



第50話●金太郎、海外赴任する。

第51話●金太郎、出発する。

第52話●金太郎、砂嵐に降りる。

第53話●金太郎、サハラに立つ。

第54話●金太郎、現場に入る。

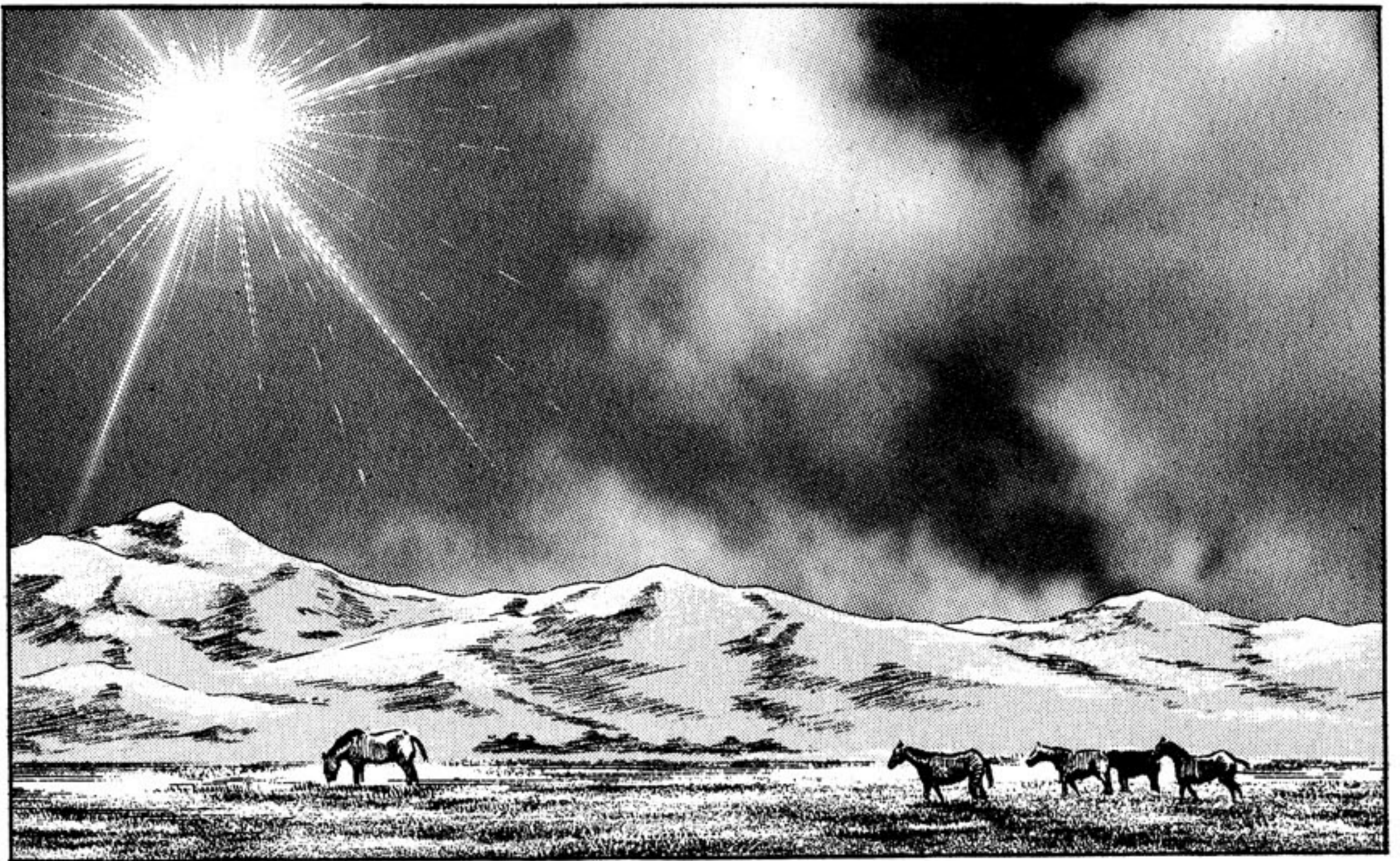
【登場人物】

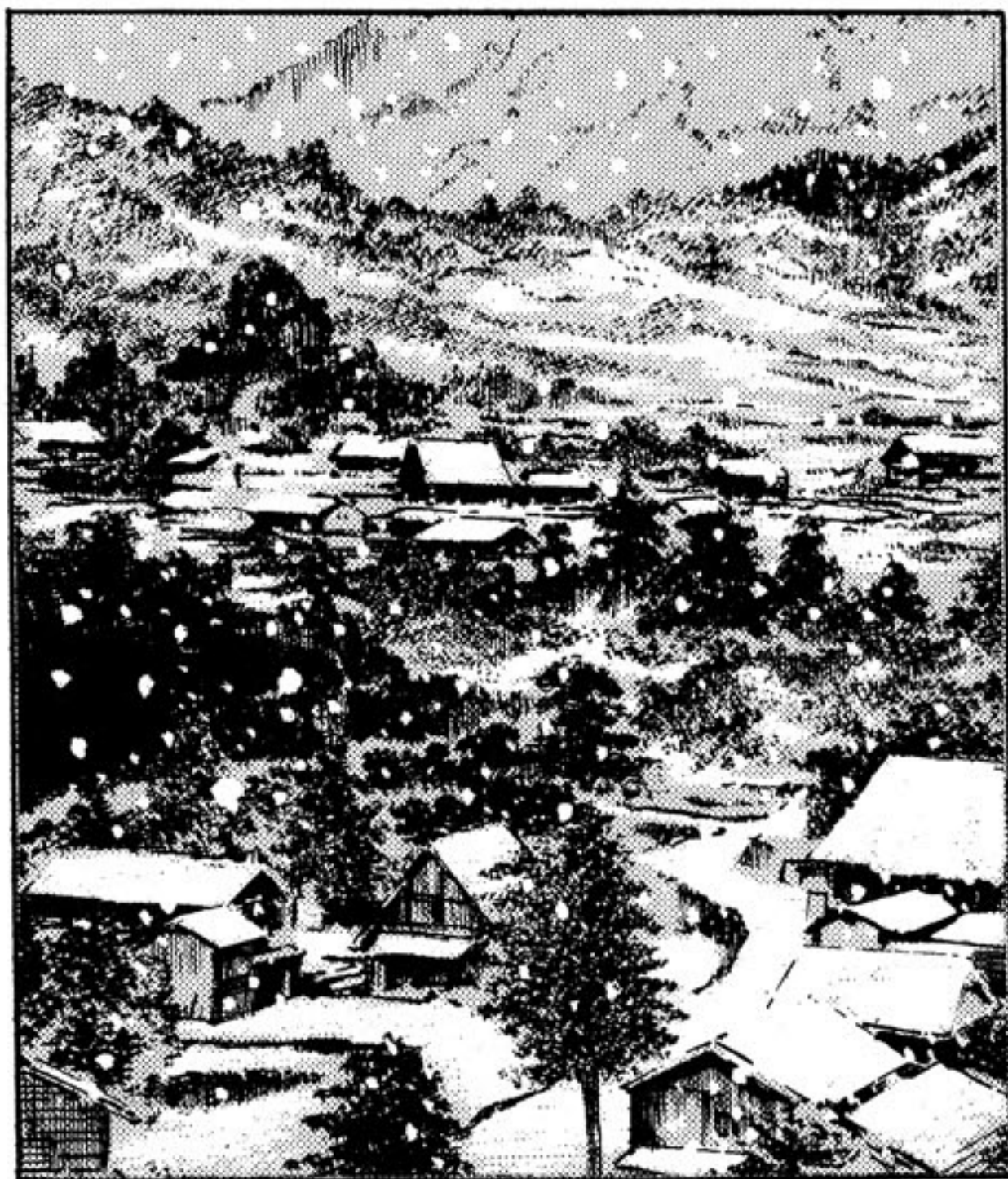
- 矢島金太郎〈やしま・きんたろう〉……………ヤマト建設海外事業部社員・本作の主人公
- 矢島竜太〈やしま・りゅうた〉……………金太郎の長男
- 大和守之助〈やまと・もりのすけ〉……………ヤマト建設創業者・現会長
- 黒川優作〈くろかわ・ゆうさく〉……………ヤマト建設代表取締役社長
- 鷹司誠士〈たかつかさ・せいじ〉……………ヤマト建設総合研究課課長
- 大石岩雄〈おおいし・いわお〉……………ヤマト建設海外事業部社員
- 石峰和彦〈いしみな・かずひこ〉……………ヤマト建設海外事業部社員
- 竹林篤〈たけばやし・あつし〉……………ヤマト建設海外事業部社員
- 青葉高子〈あおば・たかこ〉……………ヤマト建設東北支社営業部社員
- 末永美鈴〈すえなが・みすず〉……………政財界の大物が集まる一流クラブのママ
- 末永美々〈すえなが・みみ〉……………美鈴のひとり娘・人気タレント
- ハシリ……………ナビリア国・アル・シーク社ドライバー

第50話

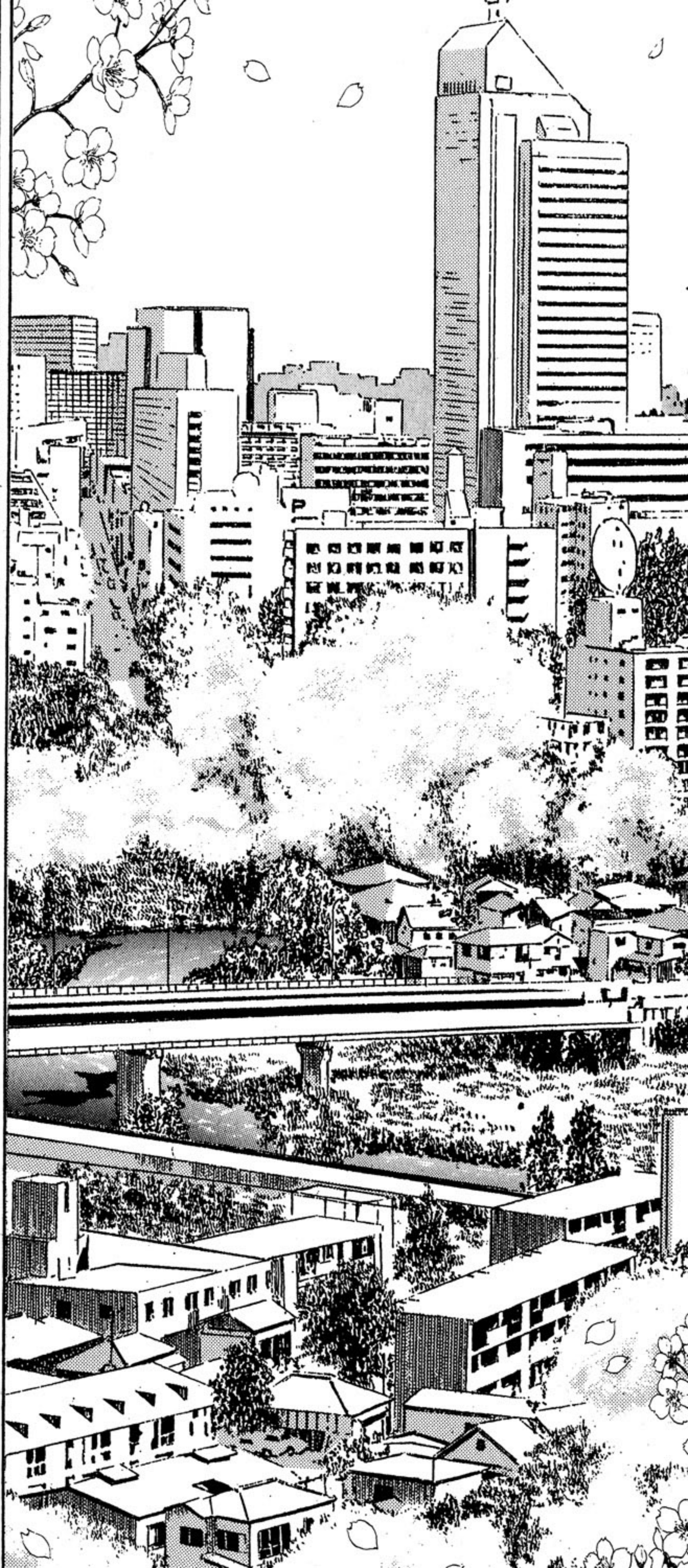


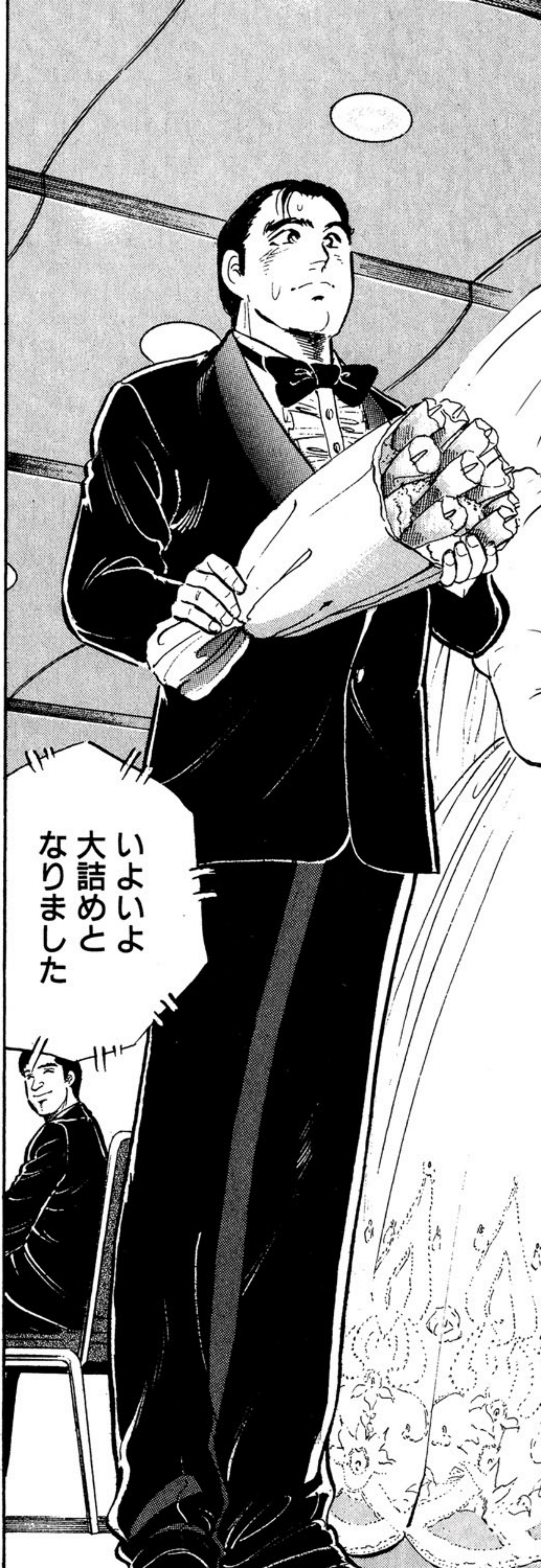
金太郎、海外赴任する。



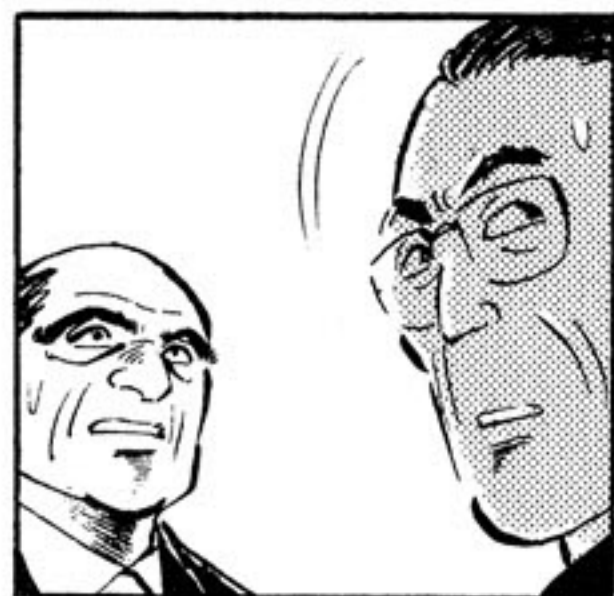
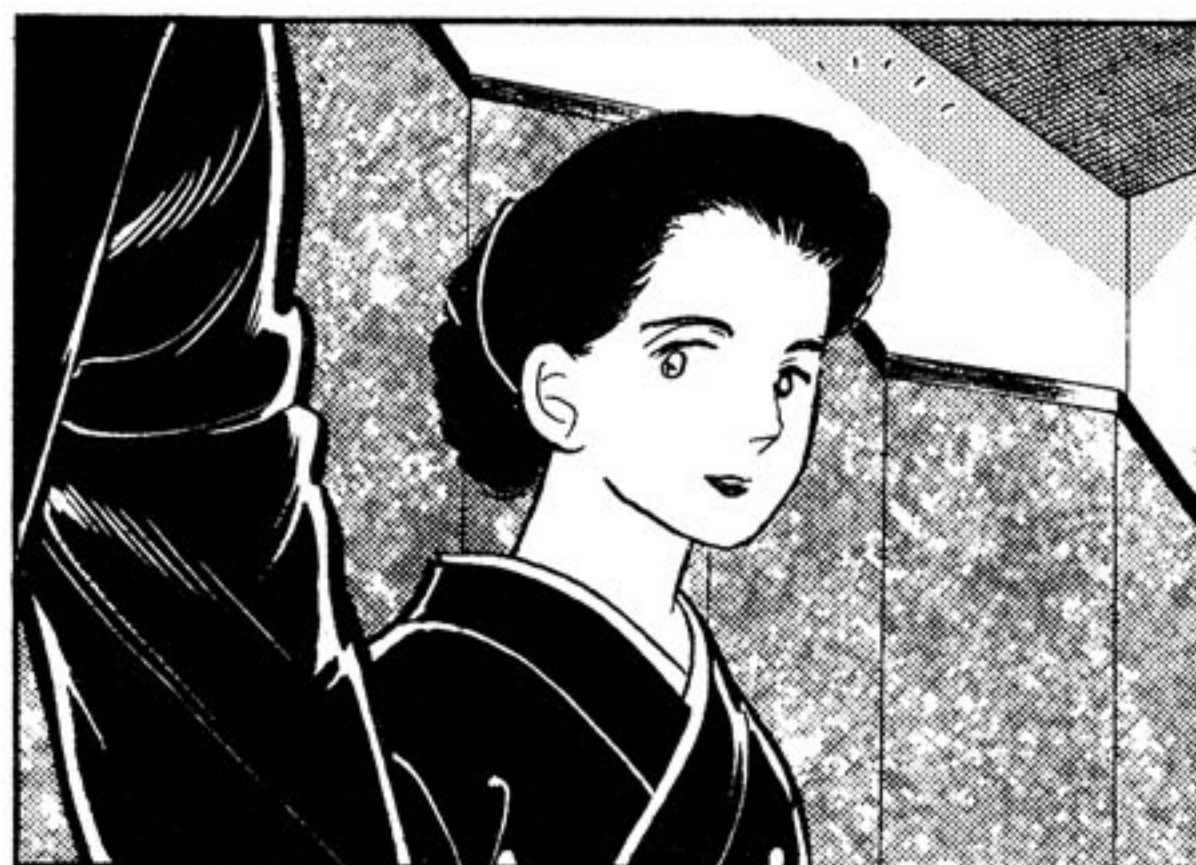


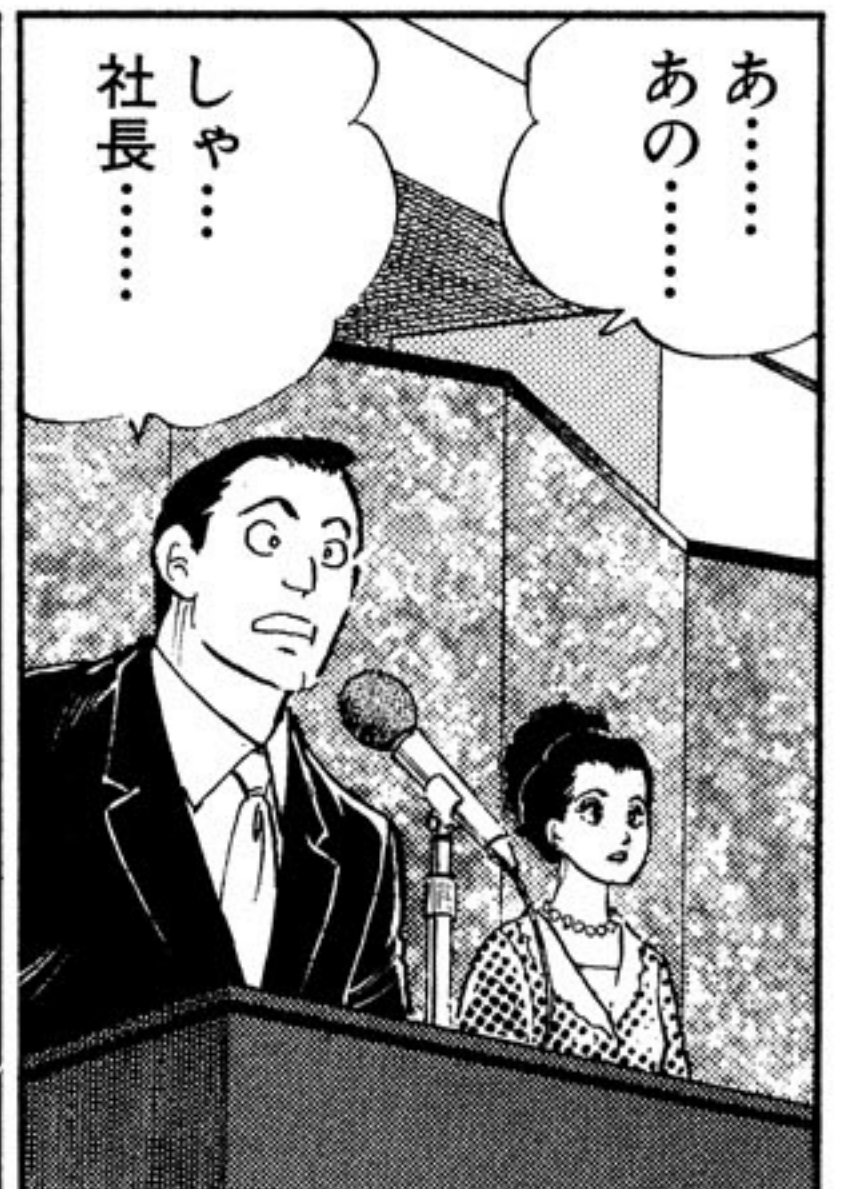
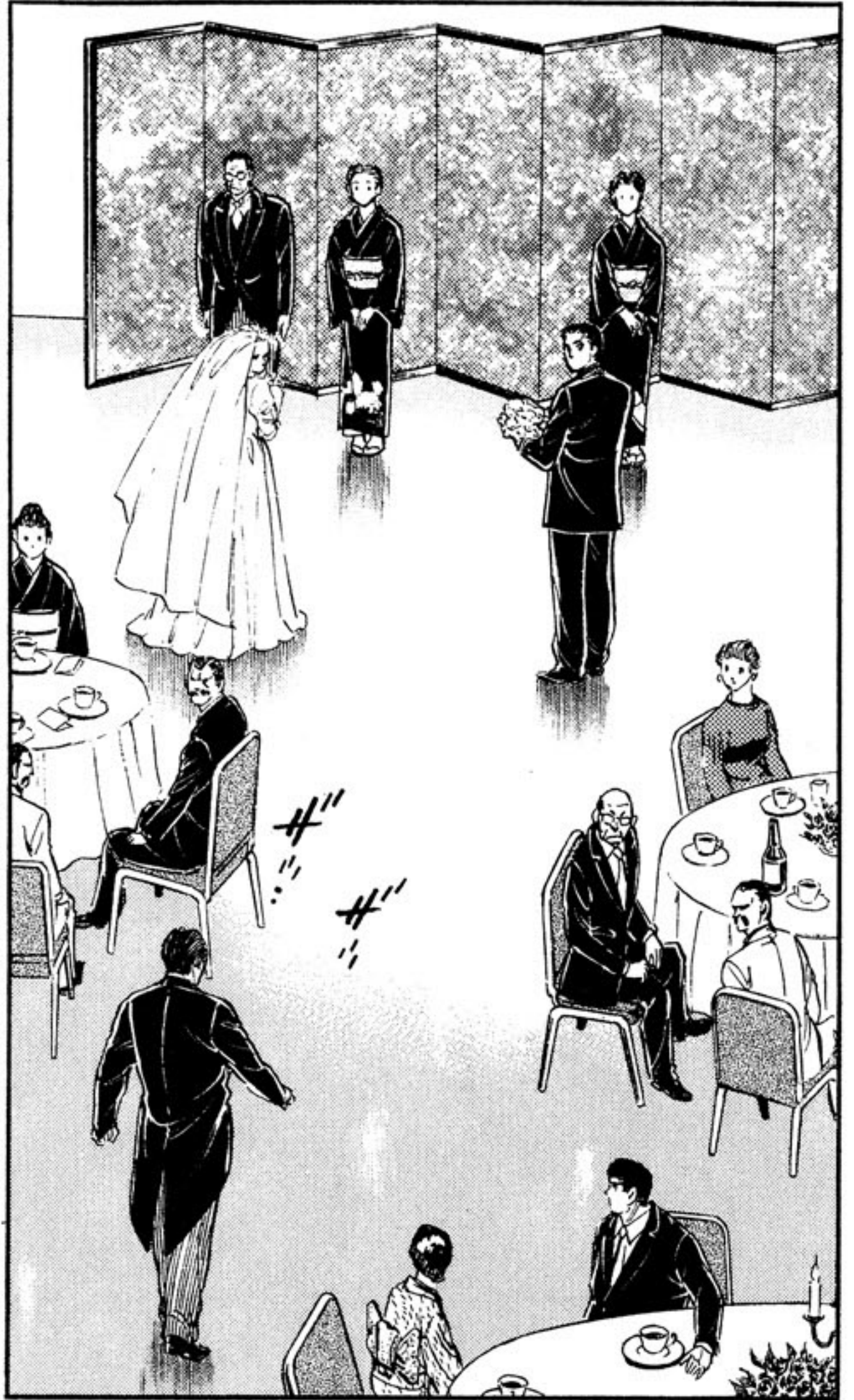
さあ
盛り上がって
参りました
結婚式も

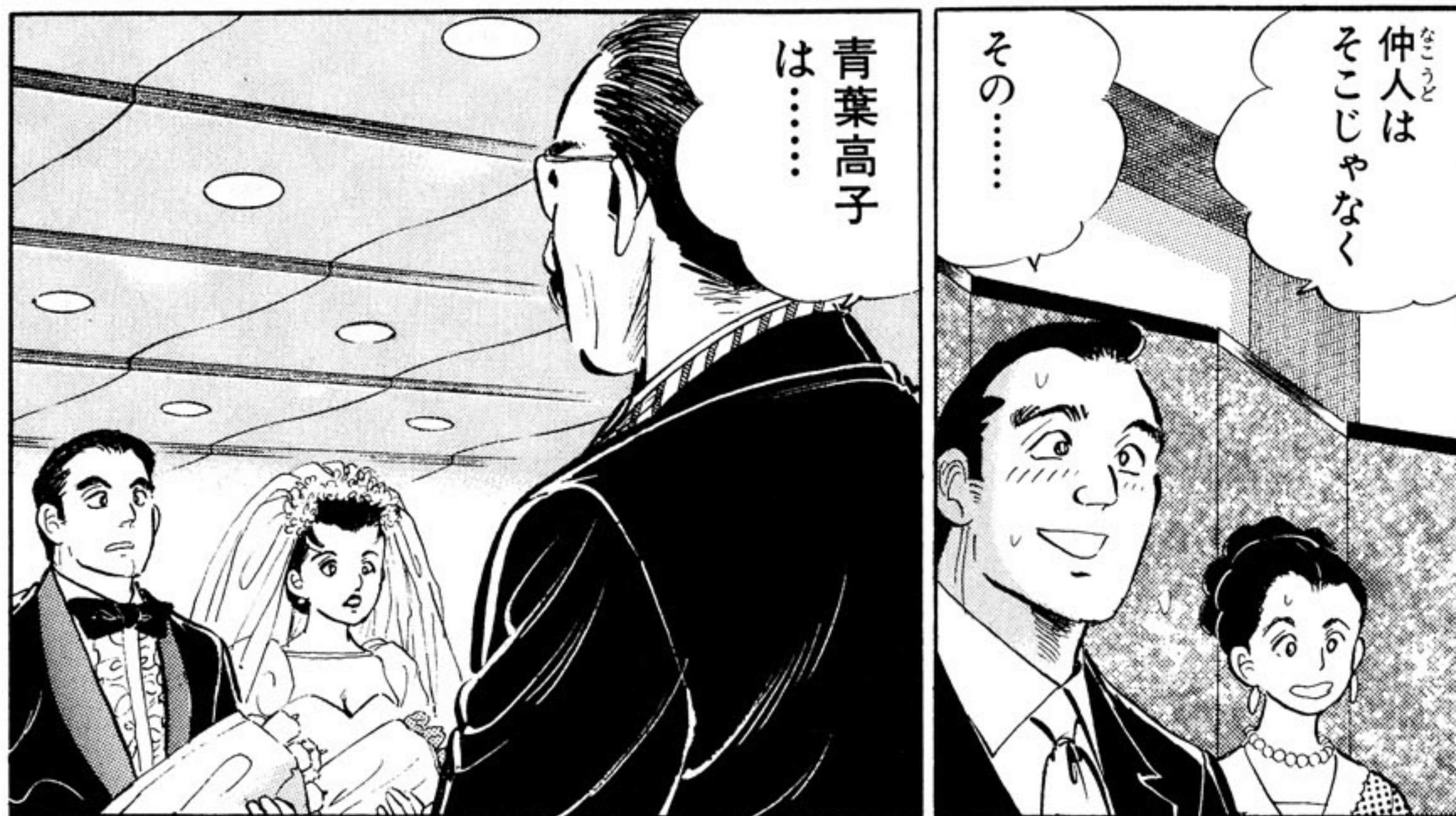






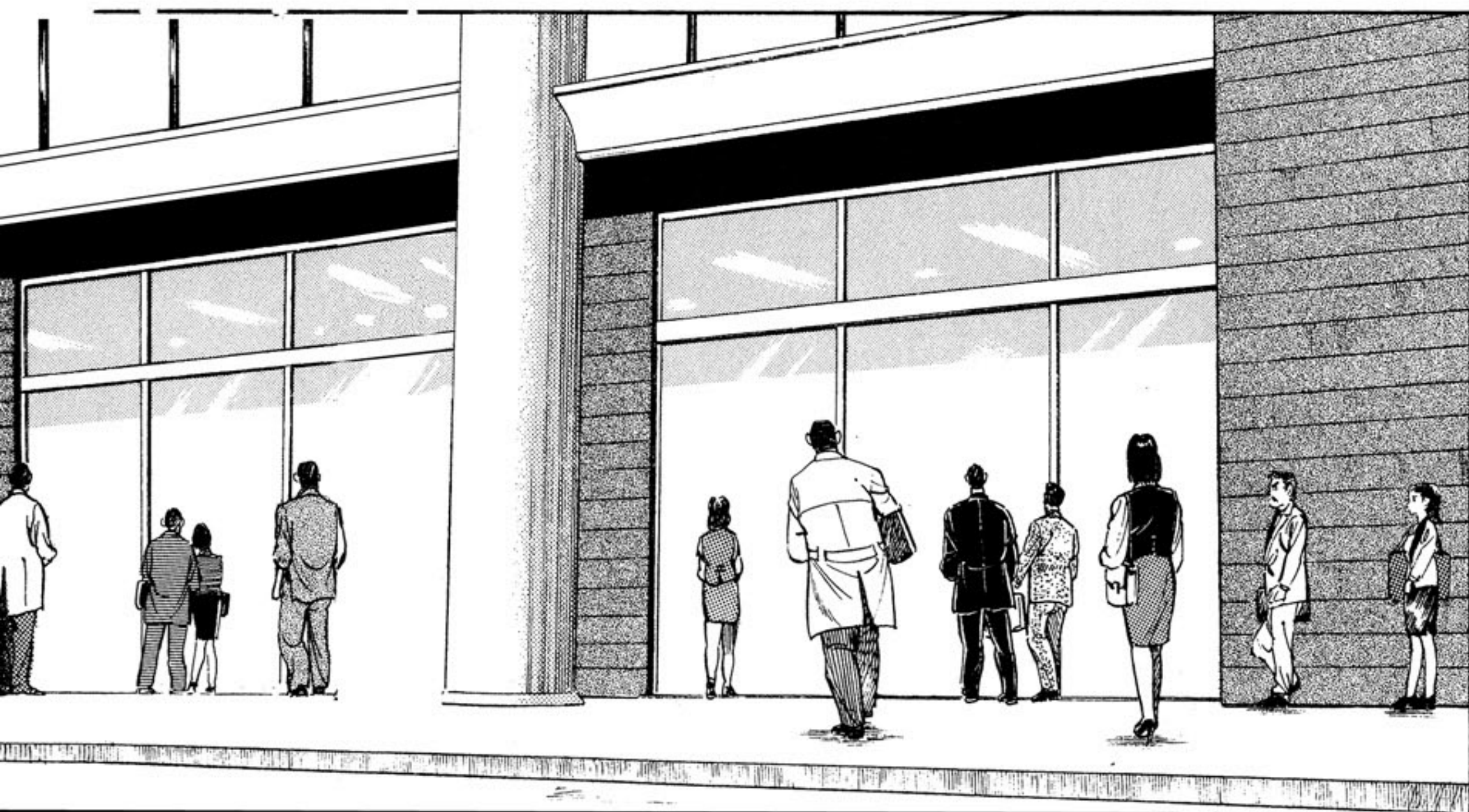
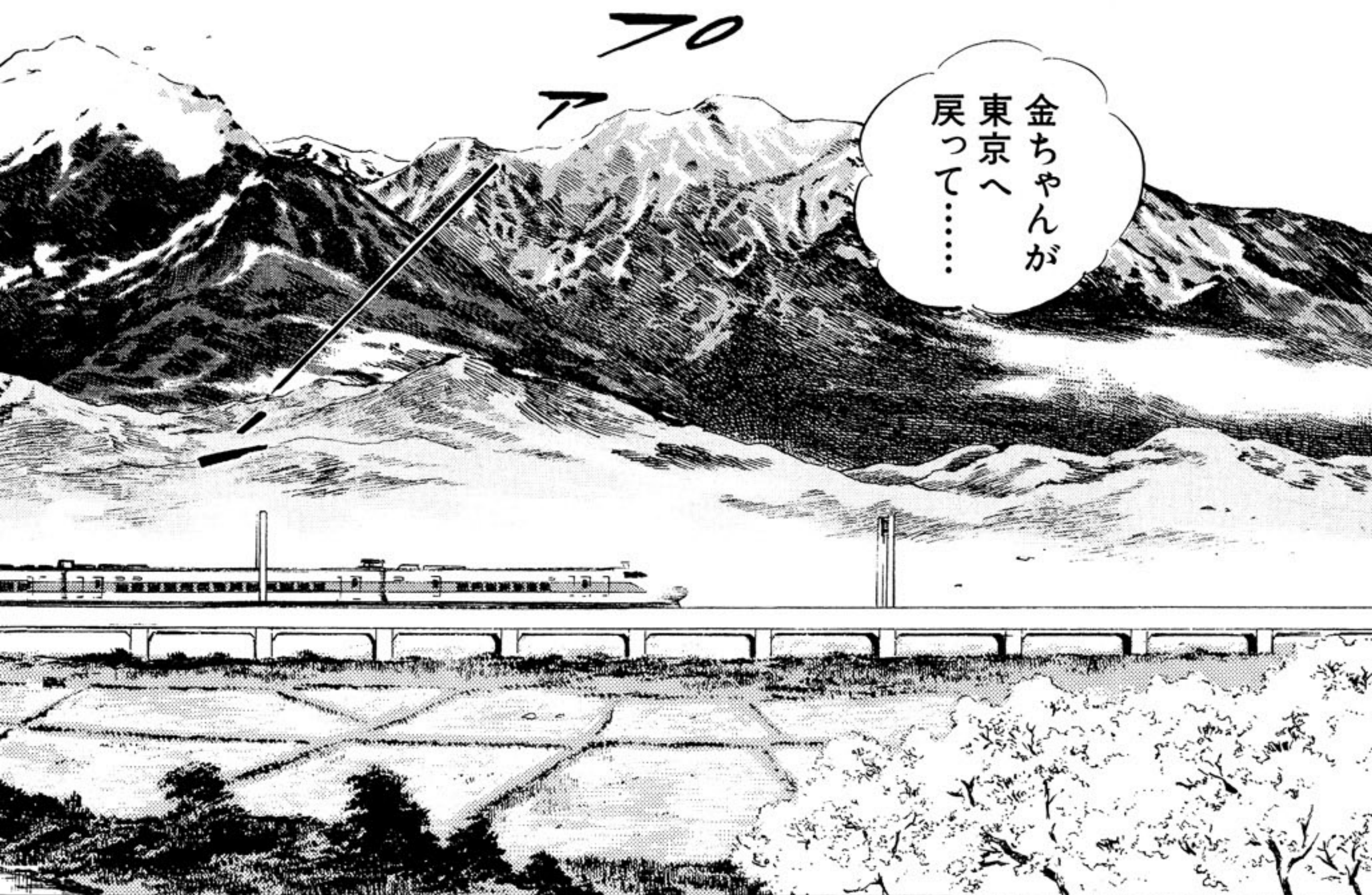


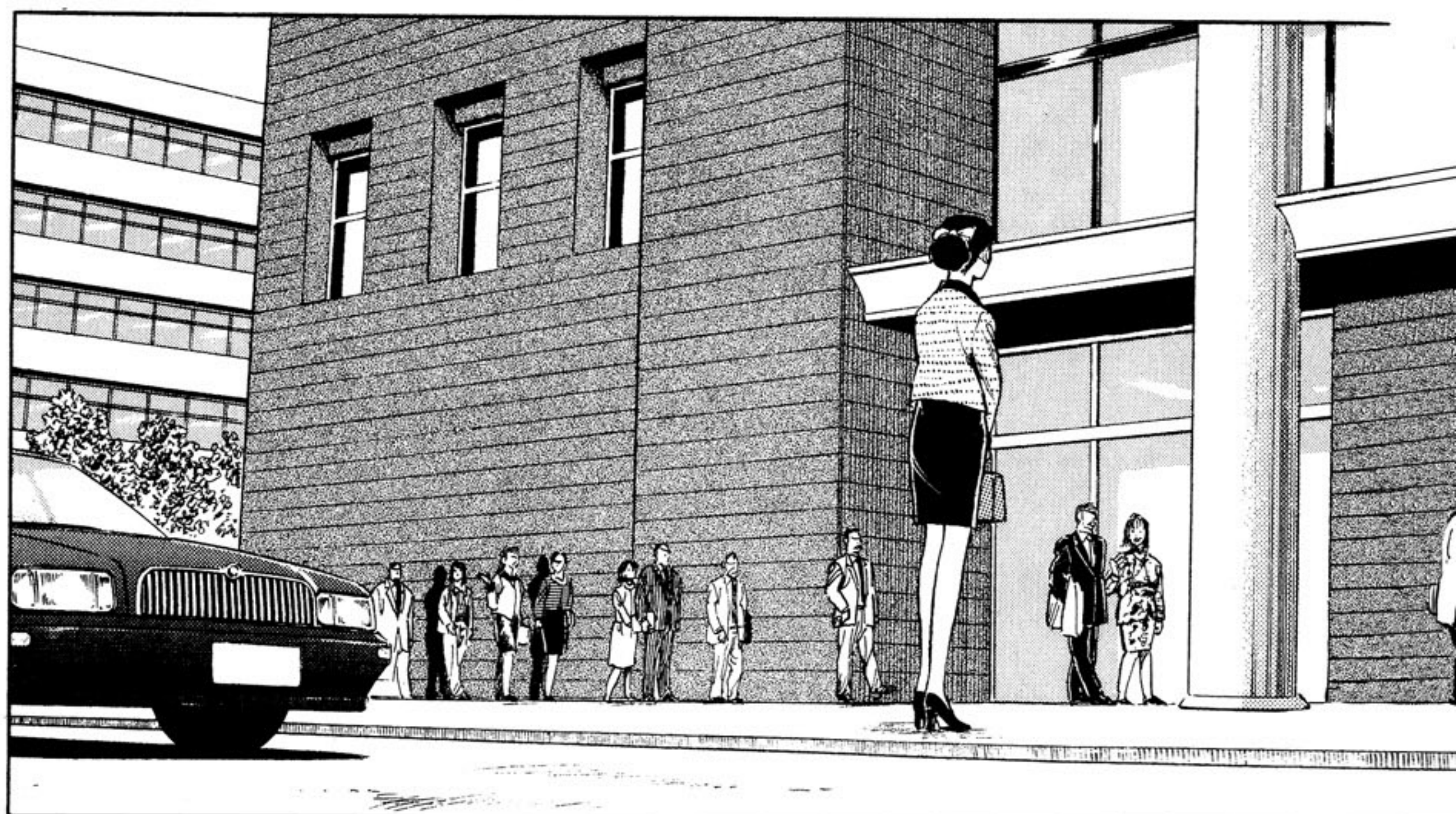
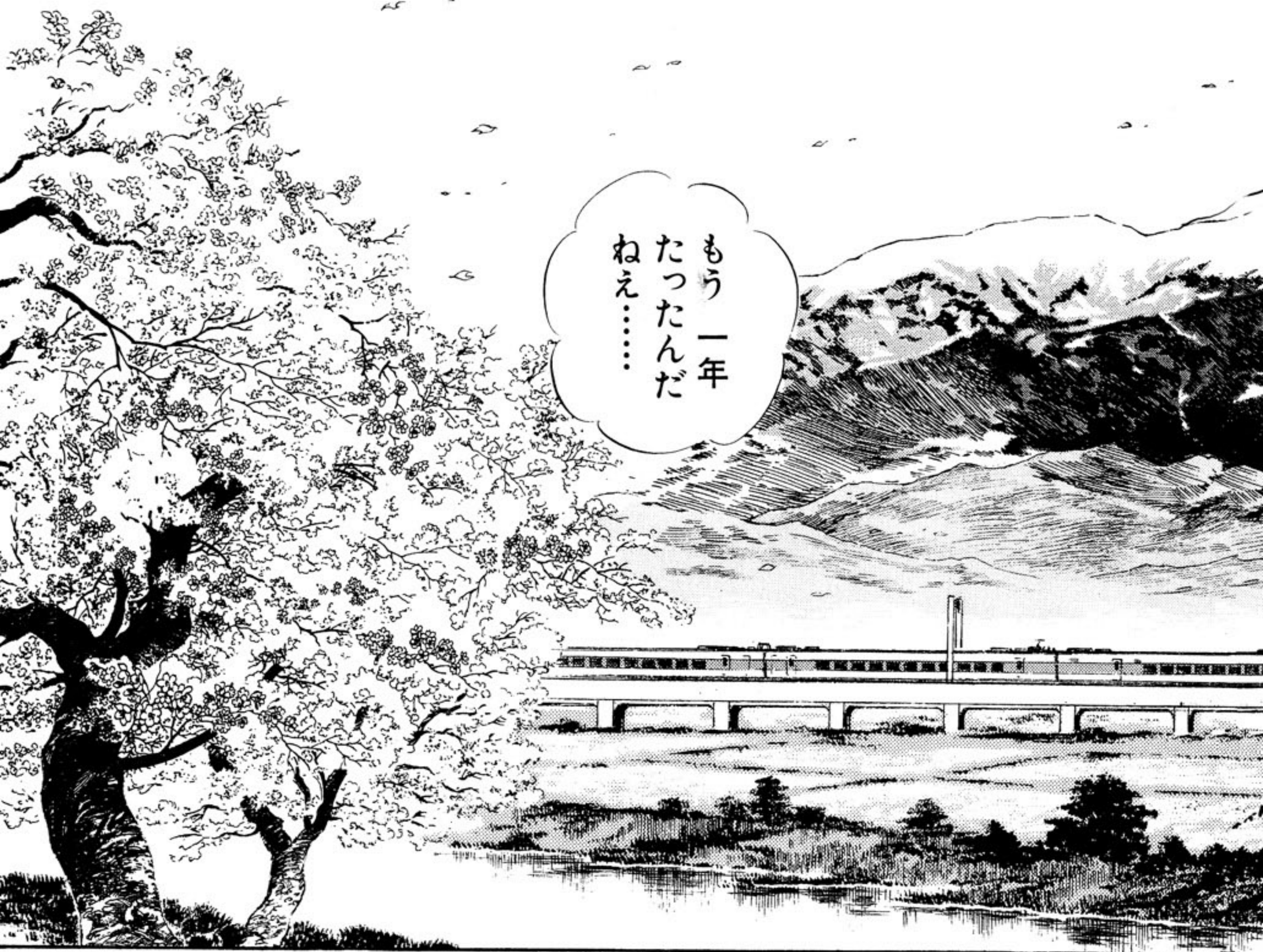


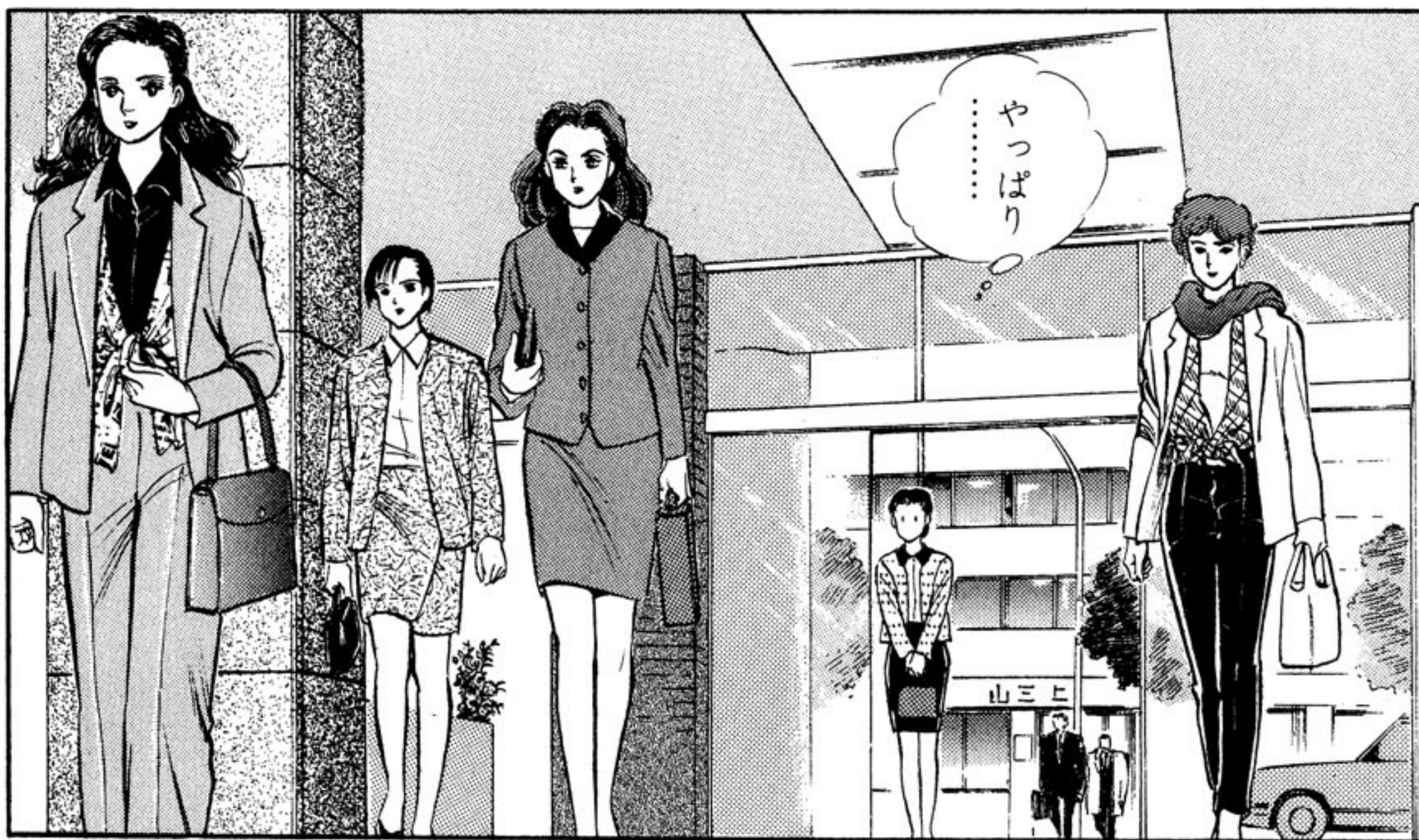
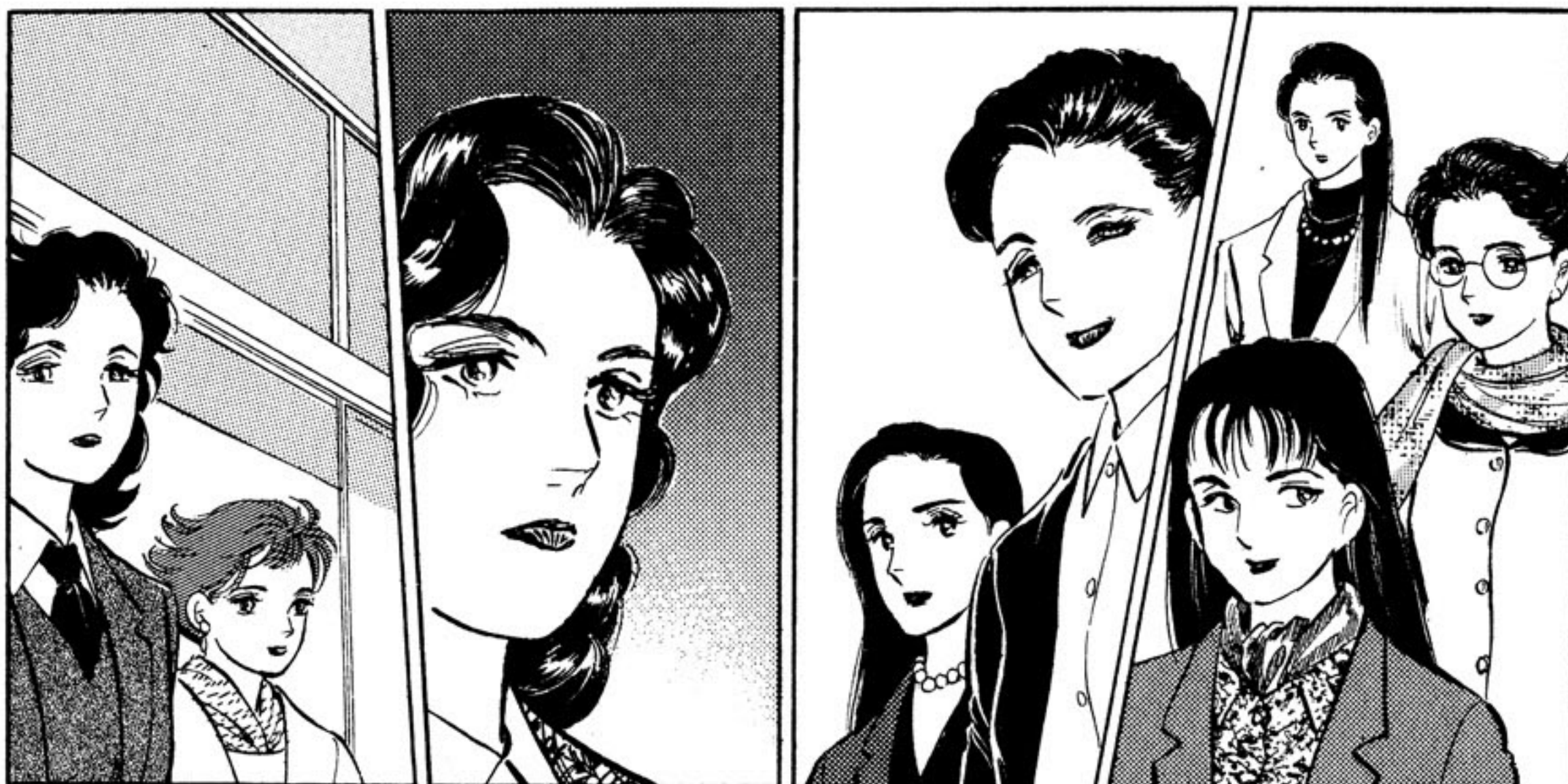




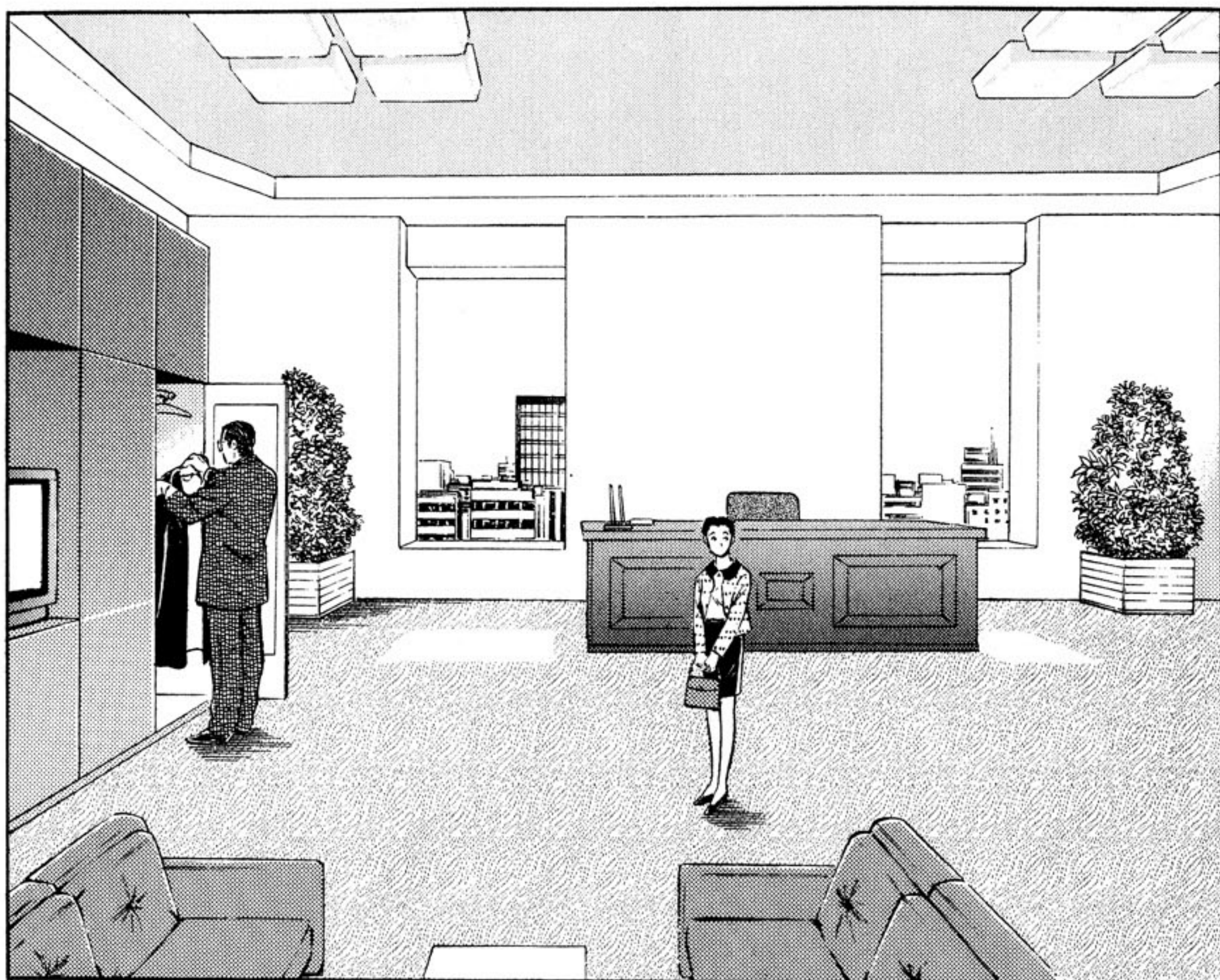
















サラリーマン金太郎⑧

